

■ 図面等の記載例

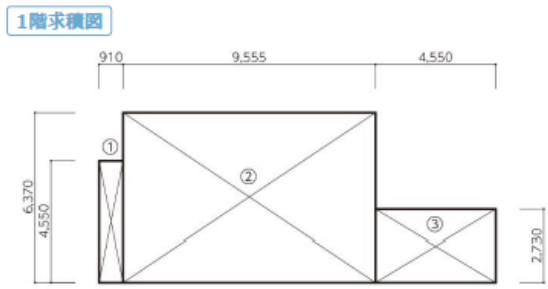
(公財) 北海道環境財団の「既存住宅の断熱リフォーム支援事業交付申請書類の作成例」を参考に作成しています。

① 延べ床面積(改修後)を算出



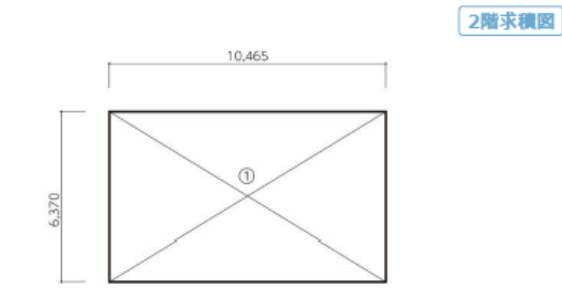
改修後平面図

平面図に「改修前」「改修後」を表記する。



<床面積求積表(1階)>

階	番号	計算式(mm)	床面積(m ²)
1階	①	910×4,550	4.1405
	②	9,555×6,370	60.86535
	③	4,550×2,730	12.4215
1階合計			77.42 795



<床面積求積表(2階)>

階	番号	計算式(mm)	床面積(m ²)
2階	①	10,465 × 6,370	66.66205
2階合計			66.66 205

番号は図面等と整合性をとる。

1階、2階それぞれの床面積合計の小数第3位を切捨て、延べ床面積を算出する。

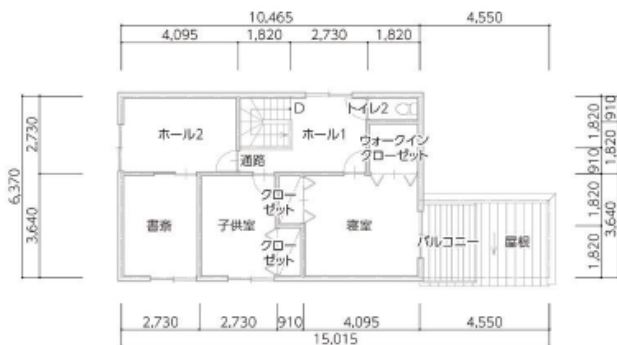
1階2階の合計延べ床面積: 77.42+66.66=144.08㎡

②補助対象床面積部を特定

1階平面図



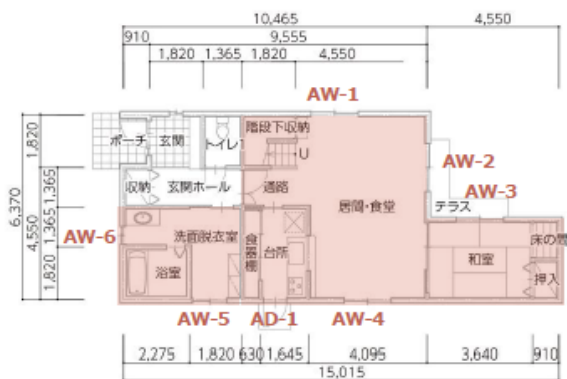
2階平面図



当該箇所に着色する等のマーキングをする。また、窓を改修する場合は窓番号を付番する。

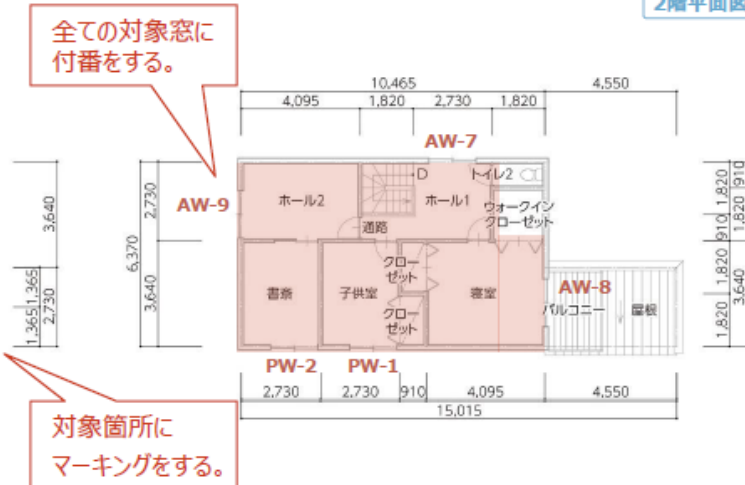
…補助対象床面積部

1階平面図



全ての対象窓に付番をする。

2階平面図



対象箇所にマーキングをする。

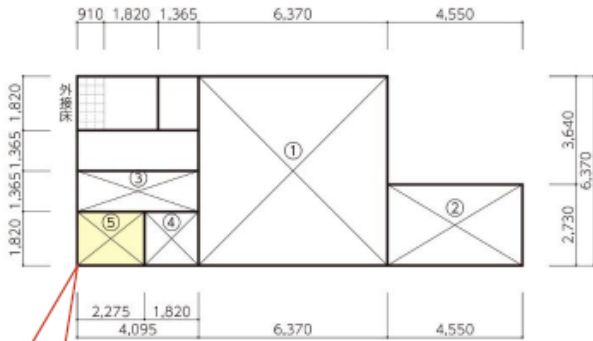
この例では、以下の組合せ番号及び改修部位を選択したものとします。

- ・組合せ番号：No. 1
- ・改修部位：天井、外壁、床、窓

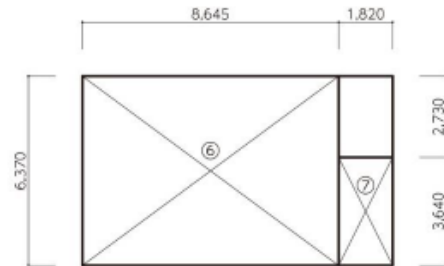
※エネルギー計算結果早見表で選択した部位全てを改修する居室等が補助対象となります。

③補助対象床面積及び改修率を算出

1階求積図



2階求積図



浴室の床及び玄関等の土間床は断熱改修工事が困難な場合も、当該部分は「補助対象床面積」として改修率へ算入できる。

<補助対象床面積求積表（1階）>

階	番号	計算式(mm)	補助対象床面積(m ²)
1階	①	6,370×6,370	40.5769
	②	4,550×2,730	12.4215
	③	4,095×1,365	5.589675
	④	1,820×1,820	3.3124
	⑤	2,275×1,820	4.1405
1階合計			66.04 6975

番号は図面等と整合性をとる。

<補助対象床面積求積表（2階）>

階	番号	計算式(mm)	補助対象床面積(m ²)
2階	⑥	8,645×6,370	55.06865
	⑦	1,820×3,640	6.6248
2階合計			61.69 345

1階、2階それぞれの補助対象床面積合計の小数点第3位を切捨て、補助対象床面積を算出する。

1階2階の補助対象床面積合計：66.04+61.69=127.73m²

$$\text{改修率} = \frac{127.73\text{m}^2(\text{補助対象床面積合計})}{144.08\text{m}^2(\text{延べ床面積})} \times 100 = 88.6 \rightarrow \mathbf{88\%}$$

※小数点第1位を切捨てて整数とする。早見表で改修率が上回っているか確認してください。

※平面図に延べ床面積や補助対象床面積の算定式、改修率の算定式を記載してください。

■ エネルギー計算結果早見表の見方

※以下の手順にて、申請可能か確認してください。

1 住宅の延べ床面積を算出してください。

2 断熱改修する居室等と部位(天井・外壁・床・窓・ガラス)を決めてください。

- ・居間又は主たる居室(就寝を除き日常生活上在室時間が長い居室等)は必ず選択してください。
- ・早見表で選択した改修部位については、改修する居室等の外皮部分全てに設置・施工してください。
- ・補助対象となるのは、原則、外皮部分(外気に接する部分)のみとなります。

※基礎断熱改修を行う場合、エネルギー計算結果早見表は使用できません。別に「エネルギー計算結果表」等を提出してください。

3 改修率を計算してください。

$$\text{改修率}(\%) = \frac{\text{補助対象床面積合計}^*(\text{m}^2)}{\text{延べ床面積}(\text{m}^2)} \times 100$$

※補助対象床面積合計＝2で選択した部位全て(天井を除く)を改修する居室等の床面積の合計

<計算例>

- *参考例を基に計算
- *計算は全て小数点第3位切捨て

① 住宅の延べ床面積を計算します。

- ・1階の床面積が77.42㎡
 - ・2階の床面積が66.66㎡の場合
- 延べ床面積 = 144.08㎡

② 補助対象床面積を計算します。

- ・1階の床面積が66.04㎡
 - ・2階の床面積が61.69㎡の場合
- 補助対象床面積 = 127.73㎡

③ 改修率を計算します。

$$\text{改修率}(\%) = \frac{127.73(\text{m}^2)}{144.08(\text{m}^2)} \times 100 = 88.6(\%) \rightarrow 88(\%)$$

小数点第1位は切捨てし整数で表記します。

浴室の床及び玄関等の土間床は断熱改修工事が困難な場合も、当該部分は「補助対象床面積」として改修率へ算入できる。

<参考例>



4 「エネルギー計算結果早見表」を確認してください。

<確認方法>

- 1) 2 で決めた断熱改修する部位の組合せ(2~4部位)
- 2) 地域区分(1~8地域)

部位の組合せと地域区分の交わる部分の改修率より、上記③の計算結果が上回っていれば申請できます。

<参考例>

ア) 断熱改修する部位の組合せ

- ・天井、床、窓の3部位改修
- ⇒ 組合せ番号: 5

イ) 地域区分: 6

* 改修率: 88%

* 早見表改修率との比較

$$88\% \geq 25\%$$

(判定: 申請可能)

◆エネルギー計算結果早見表 (戸建住宅)

断熱部位数	組合せ番号	天井	外壁	床	窓・ガラス	最低改修率(%)								
						地域区分								
						1	2	3	4	5	6	7	8	
4部位	1	天井	外壁	床	窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25	25	個別計算
3部位	2	天井	外壁		窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25		
	3	天井	外壁	床		25	25	25	25	25	25	25		
	4		外壁	床	窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	50		
	5	天井		床	窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25		
2部位	6	天井	外壁			25	25	25	25	25	25	25		
	7			床		25	25	25	25	25	25	25		
	8	天井			窓の改修、ガラスの改修	25	25	25	25	25	25	25		
	9		外壁		窓の改修	30	30	40	40	40	40	70		
	10		外壁		ガラスの改修	40	40	40	40	40	40	70		
	11		外壁	床		40	40	40	40	40	40	100		
	12			床	窓の改修	40	40	40	40	40	40	100		
1部位	13			床	ガラスの改修	50	40	40	40	40	40	100※1		
	14				窓の改修	100	100	100	100	100	100	100※2		

※選択部が「個別計算」と表記がある場合は、個別エネルギー計算書の提出が必要です。

5 早見表で最低改修率に達しない場合は、見直しを行ってください。

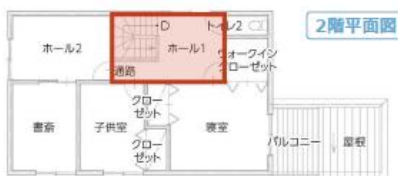
- ・改修する居室等を増やし、改修率を上げる。
- ・断熱改修部位の組み合わせを変更する。
- ・「エネルギー計算結果表」等を提出する。

【注意事項】同一空間の考え方



1階平面図

間仕切りがなく、空間がつながっている場合(吹抜け、階段等)は、同一空間と見なし、改修する居室等に含んでください。



2階平面図

左記の図の場合、1階の居間・食堂を改修する場合は、階段で空間がつながっているホール1も改修する居室等に含む必要があります。